



7月のほけんだより

令和4年7月1日発行
よなは学童クラブ
よなは第2学童クラブ

日に日に日差しが強くなり、心弾む夏がやってきました。
天気がよければ、毎日プール！の子どもたち。元気そうに見えても、体は意外と疲れています。
おうちではゆったりと過ごせるようにご配慮ください。

6月の感染症

RSウイルス感染症

- ・鼻水・せきなど、風邪の症状がでる。熱が出ないこともある。
- ・軽い症状で済むことも多いが、乳児がかんせんした場合は重症化しやすいので気をつける。

※できるだけ早く医師の診断を受けましょう!!

アデノウイルス感染症

- ・アデノウイルスには約50のタイプがあり、そのどれに感染するかによって症状が異なります。多くは、発熱やのどの痛み、目の充血などを引き起こしますが、中には、重度の膀胱炎や胃腸炎の原因となるものがあります。

※できるだけ早く医師の診断を受けましょう!!

※アデノウイルス感染症は、学校保健法によって『発症した場合、主要症状、発熱・咽頭痛・結膜炎などが消えた後2日を経過するまで幼稚園や学校は休まないといけない』と定められています。

気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！

ヘルパンギーナ

高熱とどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。



プール熱

（咽頭結膜熱）
高熱とどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状が出る。



手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ほうができ、熱が出ることも。



お知らせ

新型コロナ感染予防対策のため、引き続き、朝の検温チェックをお願いします。

※登校時に、体調不良で保健室から連絡があった場合は、必ず小学校へ直接お迎えをお願いします。

1年のうちでも5～9月は紫外線の多い時期。外に出るときは、必ず帽子をかぶるようにしましょう。帽子は、つばが広く、通気性のよい素材のものがおすすめです。

帽子をかぶりましょう